

地理学会ニュース

2018年度 第4号

法政大学地理学会 2019年3月22日発行

選挙管理委員会 公示3号

2019年1月29日

法政大学地理学会選挙管理委員会

公示1号・公示2号でお知らせしました2019～2020年度の法政大学地理学会評議員選挙の結果は以下のようになりました。

記

1. 投票状況

投票者総数／30 のべ投票総数／308 (有効投票数 308, 無効投票 0)

2. 開票結果

[当選者] 伊藤達也（一般・埼玉）、加藤美雄（一般・千葉）、狩野真規（一般・東京）、木村成彦（一般・東京）、小寺浩二（一般・東京）、小原文明（一般・東京）、米家志乃布（一般・京都）、小山伸樹（一般・東京）、佐藤典人（一般・埼玉）、塩谷恭正（一般・千葉）、杉山保（一般・北海道）、千葉 晃（一般・東京）、中俣 均（一般・新潟）、羽田麻美（一般・東京）、浜田弘明（一般・神奈川）、細田 浩（一般・埼玉）、前畠明美（一般・東京）、前埜英明（一般・東京）、安森直輝（一般・東京）、山口隆子（一般・東京）。<以上20名><五十音順>

会 告

◎日 時：2019年5月11日（土）

16時20分～17時20分

法政大学地理学会
会長 佐藤典人

◎会 場：法政大学市ヶ谷キャンパス

（東京都千代田区富士見2-17-1）

ボソナードタワーBT1300教室

◎議 題：1. 2018年度事業報告

2. 2018年度決算報告

3. 2018年度監査報告

4. 2019年度事業計画

および予算案

5. その他

記

2019年度定期総会
下記の通り、2019年度定期総会を開催します。総会・懇親会の出欠は法政地理51号綴じ込みのハガキにて4月末日までの返送をよろしくお願ひいたします。なお、総会成立要件が会則で定められたため、総会欠席の方は委任状の返送も合わせてお願ひいたします。

なお、当時は総会に先立ちまして、評議員会および特別講演が予定されています。特別講演には万障お繰り合わせの上ご参考いただきますようお願いいたします。

また、総会終了後、懇親会を開催する予定です。多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。会場や会費などの詳細に関しましては、当日受付・掲示などお知らせいたします。

特別講演

◎日 時：2019年5月11日（土）
15時00分～16時頃まで

◎会 場：法政大学市ヶ谷キャンパス
ボアソナードタワーBT1300 教室

◎演者 宮倉正展氏
(国立研究開発法人産業技術総合研究所
地質調査総合センター活断層・火山研究部門
海溝型地震履歴研究グループ・研究グループ
長)

◎演題「地形・地質から読みとく過去の
巨大地震」

法政大学地理学会評議員会

◎日 時：2019年5月11日（土）
13時30分～14時30分

◎会 場：法政大学市ヶ谷キャンパス
(東京都千代田区富士見2-17-1)
ボアソナードタワーBT1300 教室

◎議 題：1. 2018年度事業報告
2. 2018年度決算報告
3. 2018年度監査報告
4. 2019年度事業計画
および予算案
5. その他

2018年度法政大学地理学術大会報告

2019年2月23日（土）、法政大学市ヶ谷キャンパス富士見校舎等で、文学部地理学科と共に2018年度法政大学地理学術大会を開催した。当日の発表総数は121（卒業論文発表91（通学課程86、通教課程5）、一般発表30（修士論文発表5、ポスター発表21含））であった。これは昨年度大会に比べて28発表少ない。また、今大会の総参加者数は299名（学生254名、一般会員他45名）で、ここ数年の大会の中では一般会員の参加者数が減少した。プログラム編成に手間取り、広報活動に少し遅れがでたことが原因かもしれない。今年度の大会でも卒業の確定した学生がほぼ全員発表した。地理学術大会で卒論発表をしてはじめて卒業できる、という常識が学生の間に定着しつつあるように思う。

しかし、例年のことであるが、自分の発表が終わってしまうと帰ってしまう学生がいたことと、1・2年生の出席が例年通り少なく残念であった。しかし、3年生の参加者が前年より多く、結果として学生参加者の数は昨年より多くなった。

全ての発表の終了後、富士見校舎内食堂で懇親会が開催され、170名（学生137名、事務2名、一般・教員31名）の参加者があった。昨年より29名の参加増となり、大変盛況な懇親会となった。なお、懇親会において4名の優秀卒業論文対象学生、およびその中から選出された第8回法政大学地理学会賞（最優秀卒業論文賞）の谷はるかさんが佐藤典人会長から各々表彰された。最優秀論文賞の審査員を務めていただいた先生は以下の5名の方々である。あらためて本報告を借りて御礼を申し上げたい。

[2018年度最優秀論文賞審査員]
小田宏信先生（成蹊大学経済学部、審査員長）
大八木英夫先生（日本大学文理学部）
宮地忠幸先生（日本大学経済学部）
市野美夏先生（情報・システム研究機構）
前畠明美先生（法政大学）

優秀卒業論文および最優秀卒業論文賞表彰

者は以下の通りである。

[2018年度優秀卒業論文]

鈴木 敦「伊豆諸島・神津島における風穴の気候学的研究」

谷 はるか「1948年福井地震の液状化の分析と液状化ハザードマップの改善に関する研究」

日暮沙弥「市街地における聖域の役割 一千葉県市川市「八幡の藪知らず」を事例にー」
西園耕歩「横浜市におけるコンビニエンスストアチェーンの立地展開」

[第8回法政大学地理学会賞（最優秀卒業論文賞）]

谷 はるか「1948年福井地震の液状化の分析と液状化ハザードマップの改善に関する研究」



写真1 優秀論文の4名



写真2 学会賞(最優秀卒業論文賞)の谷さんと佐藤会長

法政大学地理学会会員へのお知らせ
法政大学地理学会会長・佐藤 典人

すでにこれまでの「学会ニュース」で何度か会員諸氏へお知らせしましたように、本会の「特別会計」に関しましては、2017年度の総会における経緯説明を踏まえた上で、2018年度の総会でその使途内容を提案し、承認され、決定しました。それに則って、本会は適正な使途を図っています。

その使途の骨子は、以下の通りですので、会員諸氏（学生会員を含む）の積極的な参加、および有効な活用を期待します。

- 「特別会計」の使途に関わる事業は、
①・「法政大学地理学会創立70周年記念論文集」刊行（2020年度刊行予定）
②・「地理学研究奨励金」授与（2018年度から実施）の2つです。

なお、それぞれの詳細については、これまでの「学会ニュース」を参照願います。ただし、細部の問い合わせを要する際には、下記に連絡下さい。

①に関して

〒352-0015 埼玉県新座市池田5-8-4.
佐藤典人 気付

「法政大学地理学会創立70周年記念論文集」編集委員会

Mail : snorihito@jcom.zaq.ne.jp

ないしは、上記の編集委員・相原 正義（法政大学地理学会・副会長）宛

②に関して

「地理学研究奨励金」授与選考委員会
委員長・大塚 一雄（法政大学地理学会・副会長）宛

以上

会員動向（2018.12.1から2019.3.14までの会員動向です。敬称略）

入会 1名

[一般] 秦 彩文

退会 7名(今年度退会者)

[一般] 江口 晃・東明 省三・長谷川 均・

細井 真弓・三尾 成彦

[学生] 岩渕 望・久津間 猛

会計委員会より

現在、2015年度以前の会費未納の方については機関誌・学会ニュース等の発送を停止しておりますので、会費未納の会員様におかれましては速やかな納入をお願いいたします。なお、インターネットバンキングでの振り込みの際にはできるだけ氏名のほかにニュース送付の際の宛名住所ないしは会員種別と番号(例:一般 / /500)などの情報を付けて下さい。カタカナの氏名だけですとどなたかが特定できないことがあります、会計処理に支障が出る恐れがありますのでご協力を頂けましたら幸いです。

機関誌「法政地理」投稿規定の改正

法政地理に掲載した論文等の別刷りの無料配布について、大学院生も学生会員と同様に50部まで無料配布することを編集委員会で検討し、2月13日の常任委員会に諮り承認されました。については、以下のように投稿規定を改正します(大学院生を16に追加、アンダーラインの部分が変更と追加した箇所)。

『法政地理』投稿規定

1987年1月 制定

2019年2月 第8回改訂『法政地理』編集委員会

1) 法政大学地理学会のすべての会員は、会誌『法政地理』に投稿することができる。

2) 原稿の種類は論説、研究ノート、フォー

ラム(会員からの情報や話題)、資料解説、文献紹介などとする。

3) 「法政地理」に掲載された論文の著作権は法政大学地理学会に帰属する。

4) 投稿された原稿は、査読者の査読結果に基づき、編集委員会がその採否を決定する。編集委員会が必要と認めたとき、原稿の加除訂正を著者に求める。極めて小部分の語句訂正是編集委員会でおこなう。投稿規定から著しく逸脱したと判断された原稿は著者に差戻す。

5) 原稿は原則としてワープロソフトで作成する。手書きによる原稿を希望する場合は、事前に編集委員会と協議する。原稿の分量は論説を刷上がり16頁、研究ノートを12頁、フォーラムを8頁、資料解説を4頁、文献紹介を2頁以内とする。原稿はB5版に横書きし、天地左右の余白と行間隔を十分に取り、1枚22字×20行(文献紹介は24字×20行)で作成する。刷上がり1頁は原稿4枚に相当する。編集委員会が認めた超過頁分の経費やカラー印刷について会誌製作に関わる追加の諸経費が発生した場合、原則として著者の実費負担とする。ただし、編集委員会が特別に依頼するものはこの貢制限通りではない。原稿の提出は電子媒体(CD、フラッシュメモリなど、以下同じ)あるいは電子メールの添付ファイルとし、文書ファイルは一太郎・Word・テキストファイルのいずれかの形式とする。

6) 刷上がりレイアウトはB5版とし、1頁22字×41行×2段組で編集委員会において作成する。表題、要旨、キーワードは1段組みにし、行間などは既刊の『法政地理』を参考にする。図表および写真は、レイアウト内に刷上がりサイズ分の余白を取り、図表番号を指示する。図表の縮小率(%)を示す。

7) 論説、研究ノート、フォーラム、資料解説には、英文の表題をつける。論説、研究ノートには400字以内の和文要旨と5つ以内の

キーワード（英文併記）をつけることとし、また、別途300語以内の英文要旨をつけることができる。

8) 原稿はすべて横書きとし、特に必要な場合を除き、当用漢字、新仮名遣いを用いる。数字は基本的にSI単位を用い、kg, km, ha, tなどを用いる。年号は西暦を用い、必要があれば元号を括弧に入れて併用する。印刷に際してイタリック体を用いたり、傍線、傍点をつける場合には、原稿にその旨を指示する。なお、行末にはみ出す句読点、閉じ括弧などは、改行せずに行末に記す。ただし、始め括弧は文頭に記す。数字及び欧字の小文字は1マスに2字あてる。

9) 本文の構成は「章」をI, II, III、「節」を1, 2, 3、「項」を1), 2), 3)で表わす。注記は本文の末尾にまとめて示し、注記番号は本文中の該当箇所に1マスを取り、右上肩に片括弧をつけた通し番号で示す。注記の文章は1行24字書きとする。

10) 文献は、本文または注記中に小原敬士(1965)、辻村太郎(1923a)などの形で表わし、論文最末尾に参考文献をまとめて次の様式で表示する。和文のものを先にし、著者名は50音順、欧文は著者名のアルファベット順、同じ著者の場合は文献の発表年次順に並べ、該当頁数を示す。

○和文文献

石田龍次郎 1971. 嘉南農田水利組合と高雄出口加工区. 経済地理学年報 17. 1-23.
小原敬士 1965. 近代資本主義の地理学. 大明堂.
綿谷赳夫 1959. 資本主義の発展と農民の階層分化. 東畠精一・宇野弘蔵編『日本資本主義と農業』. 岩波書店. 123-166.
アルフレート・ヴェーバー, 江澤譲爾訳 1938. 工業分布論. 改造社出版.

○欧文文献

Anuchin, V. A. , Balteanu, D. and Serban, M. 1973. Theory of Geography.

Chorley, R. J. ed. *Directions in Geography*. Methuen. London. 25-78.
Dorward, N. M. M. and Wisse, M. J. 1978. Market Areas in Product Differentiated Industries. *Economic Geography* 54. 5-17.
Holland. S. 1976 . *Human Geography*. Macmillan Press. London.

11) 図表などには第1図、第1表のようにそれぞれ通し番号をつけ、その挿入箇所を原稿の欄外に(第2図)の形で朱書きして指示する。図表などの表題や説明文は番号順に別紙にまとめて提出する。

12) 図表はそのまま製版できるものを提出する。図の寸法は刷上がりの1.5倍程度が望ましく、図表には縮小率(%)を指示する。なお、図の刷上がりの左右の幅は1段分(最大70mm)か2段分(最大145mm)、天地は表題や注記などを含み最大200mmとし、図中の文字は、印刷時の文字の大きさが2.5mm角程度になるようとする。地図には方位と縮尺(目盛り尺で示す)を必ず入れる。

13) 表の形は既刊の『法政地理』を参照し、できるだけ簡潔に作成する。

14) 以上その他、細目は『法政地理』最新号を参考にする。

15) 投稿にあたっては、本誌綴じ込みの送付状に必要事項を記入し、原稿、刷上がりレイアウト、図表などとそれら一切のコピー1部、電子媒体を添付して提出する。また、著者校正のために必ず手元にコピーを残しておく。受理された原稿と電子媒体は原則として返却しない。ただし、図表や写真は投稿時に申し出があれば返却する。

16) 著者の実費負担により50部単位で別刷りを作成できる。ただし、学生会員・大学院について50部まで無料とする。

連絡先：法政大学地理学会
『法政地理』編集委員会
〒102-8160 千代田区富士見2-17-1

法政大学文学部地理学教室内
FAX : 03-3264-9459
Mail : henshu@chiri.info

法政大学地理学会ニュースに掲載する原稿を広く会員の皆様から募集しております。原稿のご相談は、下記の連絡先までお願いいたします。
連絡先：庶務委員会(shomu@chiri.info)

参考

法政大学地理学会会則

第6条 会則の実施に必要な事項については、別に細則および各種規程を設ける。細則および各種規定の変更は、常任委員会において行い、評議員会および総会で報告する。ただし、会費の変更に関しては、評議員会および総会の承認を得なければならない。

〈〈学会ニュース原稿の募集〉〉

2019年3月22日発行
編集 法政大学地理学会庶務委員会
発行 法政大学地理学会常任委員会
〒102-8160
東京都千代田区富士見2-17-1
法政大学文学部地理学教室内
Fax. 03-3264-9459
E-mail hoseichiri@chiri.info
Web <http://www.chiri.info/index.html>
郵便振替 00170-9-167442